

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業廃棄物指導課
 担当名：監視・指導・撤去担当
 内線：3138 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B30	環境産業へのステージアップ事業			一般会計	総務費	環境費	廃棄物対策費	産業廃棄物監視指導費	
事業期間	平成28年度～平成30年度	根拠法令	なし	宣言項目			分野施策	051144 資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進	
1 事業の概要 循環型社会の担い手である産業廃棄物処理業界に優秀な人材を確保し環境産業へステージアップするため、業界のイメージを一新し時代の潮流を捉えることができる人材を確保・育成し、新技術の開発や処理技術の高度化を図る。 (1) 人材確保のためのイメージアップ事業 △54千円 経費節減による減 (2) さんばい「稼ぐ力」増進事業 △6,446千円 契約差金及び経費節減による減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 人材確保のためのイメージアップ事業 1,009千円 → 955千円 (ア) 環境産業合同入社式 (イ) 3S運動推進事業 (ウ) 3S運動優秀事例発表会 イ さんばい「稼ぐ力」増進事業 21,677千円 → 15,231千円 太陽電池モジュール(太陽光パネル)処理技術の研究・開発 (2) 事業計画 ア 3S運動等を推進することにより産廃業界のイメージを一新し、次世代を担う産廃人材を確保する。 イ 太陽電池モジュールリサイクル技術を県内で確立するため、県がリサイクル装置を導入し県内企業とリサイクル技術を開発する。 技術開発以後の社会実証・事業化を推進させるため、廃棄物である廃モジュールの回収・一括処理に係る制度整備を行う。 (3) 事業効果 ア 産業廃棄物処理業の人材が確保され、経営基盤が安定し、循環型社会を担う社会インフラが確保される。 イ 太陽電池モジュールリサイクルの技術と制度を一体的に開発し埼玉から発信することで、この分野を県内業者と県とで全国をリードするとともに、業者は本件新規事業分野の市場を他県業者に先駆けて押さえることができる。 (4) 補正予算の概要 ア 経費節減による減 △ 54千円 イ 契約差金及び経費節減による減 △ 6,446千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△6,500	繰入金	△6,446					△54	16,186
現計額	22,686		21,677					1,009	